

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

12月1日現勢 組合員 8,816名
機関紙 5,337部
年金改善署名 42,995筆 077署名 11,464筆



神奈川県版 第241号 2008年12月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



荒れた天気の中で抗議する年金者組合

各地の報告があり、「1ヶ月といわれていたが、実は5年分が消えていた(世田谷)」、「委任状で700人が提出65%以上の支部が出した。社保協、神奈川労連などと共同で学習会、県交渉もやった、人員を増やし早い解決を(神奈川田島委員長)」、「痴呆の奥さ

急げ消えた年金の解決 生きている内にすぐに払え

厚労省へ要求と抗議 年金者組合が世論を動かす

年金者組合の取り組みによって、消えた年金が次々に明らかになっていきますが、解決は1年先になるとかメドがたつていません。全日本年金者組合は12月5日、強い雨と突風の中、組合員200人以上が厚生労働省に対して、消えた年金の一刻も早い解決を要求する交渉と抗議を行いました。この行動に呼応して国会やテレビも大きく取り上げました。

夕方には雷雨という空模様の中での集会でした。交渉団長の篠塚中央本部委員長は、「苦しい生活の中で政府を信じて年金をかけてきた。この人たちの怒りと強い要求をもって交渉に当たる」と決意表明し交渉団23名と共に省内へ入りしました。雨と雷鳴のとどろく中、集会は、全労連と全厚生労組の激励挨拶後、

の発言もありました。交渉団が戻り「国会議員も野党4党から代表が参加し追求してくれたいが、出てきたのは課長補佐だった。各地での再裁定の遅れの実態を述べその遅れを追求した」、「人員は増やしている」と言う程度で明らかかな回答は得られなかった。責任者が対応に出なかったこと、明確な回答になつていないことに強く抗議すると言った(埼玉)、「怒りに報告がされた。怒りに燃える参加者は厚生労働省に向かい「回復した年金すぐ払え」「物価に見合う年金引き上げを」を光の漏れる厚労省へ向けシニプレビコールを響かせました。

(兼子隆商副委員長)

怒る 古舘キャスターも「報道ステ」が特集

年金者組合が厚労省へ要求と抗議行動をとった日、テレビ10チャンネル「報道ステーション」が消えた年金の特別番組を放映しました。冒頭荒天の中で年金者組合の抗議行動をはじめ、消えた年金に対する怒りと、解決を迫る埼玉本部佐藤書記長をインタビュー。

国会内で記者が外添厚労大臣に62万件の消えた年金の未処理をどうするのかを質問したほか、重い病気が進む中で、やっと突き止めた消えた年金を、生きている内に払ってほしいという、老人の切実な訴えも取り上げました。古舘キャスターは「はらわたが煮え返る」と対策の遅れを批判。コメントーターの堀田力弁護士も「受給者は命がかかっている。一日も早い解決を」と迫りました。年金者組合の取り組みは社会や政治を動かしています。

年金・福祉を守れ 輝け高齢期 かながわの集い

神奈川県高齢期運動連絡会主催「第4回輝け高齢期かながわの集い」が11月12日、相模原市市民ホールで230人を集めて開かれ、県年金者組合からは100人が参加しました。



元気なコーラスなども次々に

たほか、県本部竹中副委員長の、年金制度の改善に対する取り組みの報告にも大きな関心が寄せられました。記念講演は「どうなる介護保険」と題して、老人福祉問題の理論と実践で高く評価される矢部広明さんが、公費で賄う外国での制度もくわしく出しながら、介護の実体、課題、運動の方向などを分かりやすく話し、出席者からポイントがよくつかめたと好評。二部はうたや踊りで楽しい集いに。

組合員にお願いして年金者組合が行った生活実態調査は、「将来に対する不安、特に健康への不安が生活危機に真っ直ぐ結びつく不安を多く高齢者が持っている」とまとめています。

その筈です。総務省の「家計調査年報」でも99年を100として07年の実収入は87・5と減少しているのに、税や社会保険料が150に、保険医療が122に増えています。

加えて物価の高騰が重なり、まさに「生活危機」の状態にあります。この実態を受けて、年金者組合はもう黙ってはいられないと①09年4月から年金を3%引き上げる(恒久的措置)、②年金月額が8万円に満たない無年金者・低年金者に、8万円に達する額を上乗せ支給する。(緊急かつ臨時的暫定最低保障措置)を政府に要求し、旺盛な大衆運動を背景に実現を迫っています。

格差で切羽詰ったくらし 3%の年金引き上げを要求 実現に向け大運動を展開

12月22日、中央本部は全組合員に討議資料を配布する予定です。支部、分会、班、ブロックで討議し、要求の正しさを確信にして、組合員の知恵と力を結集し、仲間をさらに広げ地域の諸団体にも呼びかけ、大きな地域運動を造りながら、3月19日には中央行動も配置して実現を迫る計画です。歴史の転換点にある情勢を踏まえ、年金引き上げ要求を掲げる新しい年金者組合の運動は、不況下の日本経済を立て直す大義ある運動でもあり、胸を張って取り組みましょう。(田島茂県本部委員長)

県本部 8816人

秋の仲間づくり 225人増 12支部が目標達成 9千500人に向け前進を

10月1日から11月30日までの「秋の仲間づくり月間」は、各支部の奮闘で秋の月間としては21世紀に入って最高の225人実増で8千816人に到達しました。

計28人目標のところ27人を拡大(達成率96%)しました。

また全支部が高齢者人口比1%達成を目指し、全国一の6%を超えている愛川支部が、今回も目標を達成したことは全県を大きく励ましてきています。

麻生、鎌倉、海老名、愛川、戸塚、横須賀、磯子、金沢、横須賀、旭、磯子、茅ヶ崎・寒川、伊勢原の12支部が自主目標を達成しました。

特に三浦半島のプロジェクトでは、4支部中3支部が目標を達成。合計457人に対して49%の達成にとどま

ています。成果を上げた支部は32。プラス・マイナスゼロが2支部、マイナス支部が5支部と、各支部間の取り組みに差があることも明らか

協力者が主役の拡大に 目標超過達成の戸塚支部

昨年秋の仲間づくり月間は、対象者をどう増やすかの課題を残したまま終わりました。

今年、春の月間から

に相談した結果、06年、07年と文書で調査するよう申し入れましたが、記録は見つからないとのことでした。

その後総務部の第3者委員会に申し立て、当時の患者3人の証言も提出しました。その結果「申立人が国民年金保険料を一括納付したと主張する金額も申立て期間中の保険料とおおむね一致している」ということで、昭和49年8月、54年3月の4年8ヵ月分が認められました。池崎さんは「年金者組合のおかげです。あきらめずに頑張ってきた」と喜んでいました。

く賑やかに話もできてとても楽しい。と入会しました。囲碁・将棋サークルに対象者を連れて入会してもらおう例もあり、協力者は選り好みせず、知人をさそって入会を勧めています。

積極的な協力者の取り組みに役員も励まされ活動に活気がみなぎりました。対象者も増え大きな相乗効果が生まれました。支部は仲間づくりの協力者と対象者、拡大の進行を一覧表で掲示し、事務所にきた組合員に月間の進行状況を分かるようにしました。

その結果、春は17人・秋の月間は12人を増やして、支部目標超過達成に結実しました。

さらに「楽しく・生き生きとした支部づくり」をみんなですすめ、支部第7大会を300人の仲間を迎えようとしています。

女性の会が積極的に支援 多摩支部で年金を取り戻す

多摩支部の女性の会は、介護、医療、年金の相談を続け、組織の拡大につなげています。取り組みの中で、池崎さんの年金も抜け落ちていることが分かりました。支部と中央本部の連携で調査の結果、池崎さんの消えた年金は4年8ヵ月分でした。

かかっています。2000年に横浜で開かれた日本高齢者大会のパネルに広告を頂いてからおつきあいです。

25歳で開業し、区役所で年金加入手続きをしたところ、遡って一括納めれば満額になると教えられ、4年8ヵ月分23万円を納めました。ところが一昨年、社会保険事務所が調べたところ、その一括分が抜け落ちていたのです。早速中央本部の年金相談員阿久津嘉子さん

になりまして。12月2日の県本部執行委員会は1月20日の県本部委員会に正式な総括と、春の月間方式を提起します。それまで各支部でも総括を深め、春の取り組みに生かす。2月の中旬に一泊の「支部活動交流会」を開催し、9千人を確実にし、来年の大会まで9500人にすることを確認しました。

（土志田公佳県本部書記長）

（多摩支部 小林光子）

推進委とグッズがカギ みんなを取り組む 横みなみ

横みなみ支部は秋の仲間づくりで目標を3人超過達成して281人になりました。拡大推進委員会を開いて対象者をあげ、拡大グッズも用意して取り組んだこと。延べ336人が来場した「第3回いきいき文化展」の成功などが大きな力になりました。

後期高齢者医療制度で、厚労省の担当者がまじめに対応せず、物価上昇で暮らせばピンチの訴えにも、「物価は下がっていません」とのそっけない返事に怒り心頭。これはやるしかない。数こそ力。横柄な役人はぐうの音も出なくしてやる。と元の職場の人に組合加入を訴え3人を増やしました。



神奈川県本部も多数が参加

国会行動へ 24日12時15分 衆院第2議員会館

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動実行委員会は、毎週水曜日に国会行動を行い、年金や労働者派遣法抜本改正などを要求しています。12月24日は神奈川県第2議員会館前。多数の参加を要請します。

各支部の新しい3役

各支部で定期大会が開かれ、新しい役員が決まっています。順次、新3役を紹介していきます。

- ①執行委員長 ②副執行委員長 ③書記長
- ◆相模原支部
①佐藤信夫 ②相馬信之 ③山本彰雄、最勝寺圓
- ◆川崎宮前支部
①市村盤根 ②松本紀子 ③福永佑司
- ◆川崎みなみ支部
①小山武 ②大城武進、須永昇、鈴木俊子、鈴木孝慈 ③塚原信介
- ◆川崎高津支部
①小林章男 ②澤田啓
- ◆相模原支部
①金井四朗 ②小野寺晃 ③高田敏充 ④霜村昇
- ◆横須賀支部
①伊藤忠 ②吉野静子、床井好、樋口義和 ③北村勇
- ◆横浜北支部
①清水寛之 ②小笠原格 ③堀越良枝、広瀬実 ④江川恒夫
- ◆大和・綾瀬支部
①中村敏昭 ②湯浅文雄 ③重城徳次
- ◆平塚支部
①古田達夫 ②渡辺徹雄 ③須藤忠正、小島貴子 ④兼子隆商

神奈川年金者文芸

（俳句）
横北支部 吉田 一夫
「無為」の書を賞でつするところ蕎麦
忘却を求めて数多行く年ぞ
平塚支部 坪井 稔恭
冬隣り血圧計のポンプ音
平塚支部 寺田 公明
蜜柑売り困むひととき路地日和

川崎麻生支部 阿部 和子
飢え忍しのぎ大根粥に米三粒
師走成り落葉のハガキ孫より来し

（川柳）
旭 支部 毛利やすひこ
首切りは駄目よと政府なせ言わぬ
給付金貰ってしまったあと怖い
横須賀支部 山田 良夫
中流が涸れてしまった貧困化
大儲け後は首切る吸血鬼

特に神奈川土建横浜中央支部もお互いの組織の発展のために協力していきましよう。4人が加わりました。役員だけでなくみんなでの取り組みが超過達成になりました。

（森信幸支部委員長）

県本部結成20周年記念
第4回文化・作品展

期日：09年4月21日(火)
～4月27日(月)
会場：かなっくホール
(JR東神奈川駅下車1分)

展示品：絵画、書、
写真、彫刻、
手芸、他

◆今から力作の準備を
お願いします。
詳細は次号